



「あだち放課後子ども教室」は区内の小学校内で、地域の方(スタッフ)の見守りのもと子どもたちが遊びや読書など自主的に活動する場です。

今月のテーマ

放課後に  
友達をつくらう



あだち放課後子ども教室では、校庭や室内で用意してある遊具を使い、子どもたちが思い思いに楽しんでいます。今回は、関原小学校放課後子ども教室での、活動や交流の様子を紹介します。

### ● 学年交流で新しい友達ができた

校庭では、異なった学年の子どもたちが、ひとつのボールを追いかけています。低学年の子は、上の学年に負けないように、同じ学年の子と遊んでいるときよりも、張り切って動いています。その顔からは、満足した様子を感じられます。高学年の子は、下の学年の様子を見ながら、加減をしたり全力を出したりと、遊びの中でいたわりの気持ちを育んでいます。



とれるかな!?

スタッフを募集している「あだち放課後子ども教室」があります。詳しくはお問い合わせください。

放課後子ども教室担当 ☎5813-3732 平日 午前9時~午後5時

### ● 力を合わせて大作を!

ドミノは子どもたちに人気がある遊具です。友達同士で相談しながら、橋などの立体的な構造物を作りあげていきます。作っている途中でドミノの一部が倒れてしまうこともありますが、友達と励ましあいながら、やり直しをしています。

完成した大作をみんなでじっくり眺めた後に、ドミノ倒しをして更に盛り上がります。



慎重に、慎重に...

### ● ほかのクラスの子も一緒に

室内では、みんなでボードゲームをしています。ルールがわからないときは、説明書を読んで確かめます。自分のこまを進め、止まったボードに書かれたメッセージを読んで一喜一憂。わいわいと、仲良く遊んでいます。子どもたちは、このボードゲームを通して、クラスの友だちだけではなく、新しい友だちと過ごす時間も大切にしています。



次は自分の番

あだち放課後子ども教室では、ほかのクラスや学年とも交流できます。そこでできた新しい友達と過ごす時間や、協力し合えるような場を、今後も提供していきます。

## 「あだち放課後子ども教室」の実行委員会

あだち放課後子ども教室は、地域の方々による実行委員会の皆さんによって運営されています。「地域の子どもは地域で見守る」の思いのもと、子どもたちが心豊かで健やかに成長することを支えています。

### 子どもの成長を支えます

かつて、足立の子どもたちは、学校が終わると公園や路地、神社や広場などで、日が暮れるまでのびのびと遊んでいました。年下の子と遊ぶときの心構えや礼儀、全員で遊ぶための工夫など、遊びを通して社会性を学びました。言い争いやけんかがあっても、自分が痛みを感じることによって相手を思いやる心が育まれました。小さなケガや失敗の体験から、大きな危険を回避する能力も身に付きました。そしてそこでは、親でも学校の先生でもない地域の大人たちの、温かくときに厳しい視線が常に注がれていました。

現在では、この場に代わるのが「あだち放課後子ども教室」です。かつての地域の大人たちの思いを引き継いでいる実行委員会の方々、子どもの成長を支えています。

### 地域の方々为主役です

実行委員会は、開かれた学校づくり協議会、町会・自治会、PTA、青少年委員、民生・児童委員、スポーツ推進員、スタッフリーダーなど、子どもたちに関わっている地域の方々で構成されています。

日々の活動は、実行委員会から選任された安全管理員(スタッフ)の方々、有償ボランティアとして子どもたちを見守っています。

### 使命感を胸に!

実行委員会は「あだち放課後子ども教室実施要綱」および、各校の「実行委員会規約」により、役員構成や役割、「子どもの心を傷つけることのないように配慮し、一人の人間として大切にす」などの責務が定められています。また、「子どもたちの健全育成に情熱を持つ地域の信頼できる者」などの要件を満たした地域の方々を、安全管理員(スタッフ)として選任するのも実行委員会の重要な役割の一つです。

子どもたちの安全で健やかな成長は、実行委員会の皆さんに支えられています。